

平成 25 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	桜ヶ丘 2 丁目自治会
活動テーマ	①災害時要援護者及び全世帯避難訓練 ②子どもサバイバルキャンプ(防災訓練)



【目的や動機】

今年で 4 回目の「災害時要援護者避難訓練」と 3 回目の「全世帯避難訓練」、および 9 回目の「子どもサバイバルキャンプ」を継続すること。避難訓練では応急手当訓練も含め、集まった方々に参加していただくこと。また、子ども(小学生)にも大人と同じメニューを与え、こなせるか検証すること。

【活動の実施方法や内容】

- ・避難訓練は、先ず一時避難所に避難して頂き、要援護者の安否確認、救出、救護、救護の方法を説明し、模式的に行った。また、その辺にある材料を利用した応急手当訓練や、新規に購入した資機材の説明、保有の資器材の説明、非常食の試食も行った。今回の目玉の一つは、太陽光発電でコンテナの温度管理や電源を。
- ・子どもサバイバルキャンプは、午前中は先輩の中学生(大半が経験者)が会場設営を応援、午後から DVD 研修、マイお箸・スプーンづくり、サクラランタン製作、テント設営、夕食準備(火おこし)、夕食、サクラランタン点灯、室内ゲームなど、その後テントで就寝。翌朝は片付け、ラジオ体操、朝食、救命講習(AED)、なまづの学校、救出用資器材の説明、水消火器訓練、一輪車競技、消防自動車放水等、午前中に終了。

【活動で得られた成果】

- ・地域の防災意識の高揚。地域の連帯感の強まり。
- ・救助訓練も子ども達が大人以上に機能することの実証。これは先行して実施した「子どもサバイバルキャンプ」の成果でもあると考えられる。